

【管理運営状況公表様式】

令和7年度 青森県総合社会教育センターの管理運営状況

県所管課	教育庁生涯学習課
指定管理者	学び・生かすあおもりグループ (代表者である団体) 青森コミュニティビジネス株式会社 (構成員) 一般社団法人青森夢創造機構 青森放送株式会社
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設の使用許可に関する業務	青森県総合社会教育センター条例及び同規則の規定を遵守し、公正な貸室業務に努めた。 また、利用者サービスの向上のため、開所時間を19時まで延長し、施設の利用促進が図られていた。
施設の維持管理に関する業務	日常的な清掃業務等の実施や、必要な法定検査やその他各種検査の実施等、適切な施設の維持管理に努めた。 また、施設内外の巡回等の防犯対策を適切に実施し、安心して利用出来る施設環境の維持に努めた。
施設の業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あおもり県民カレッジ運営業務 各地域の連携機関と協力体制を組み、地域のニーズに合った学習機会を提供した。県内全域において、学友会（カレッジ学生の自主運営による団体）活動に対する支援と協働により、学習活動の振興に努めた。 ・インフォメーションプラザありす運営業務 窓口対応時間を19時まで延長して県民サービスの向上を図ったほか、ラーニングスペースとして開放し、快適に学習活動がしやすい空間づくりに努めた。 また、利用者カードを発行し、カードを提示することで、空き研修室を自主学習室として利用できる取組の実施や、エントランスホール等へ各種作品展示も行った。
自主事業	自主講演会や大学公開講座等を開催し、県民の学びの機会や施設利用の充実を図った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
研修室等利用者数 (人)	R 2		23,664	(前指定管理者実績)	
	R 3		23,726		
	R 4		37,165		
	R 5	40,000	44,768	111.9%	120.5%
	R 6	44,770	44,796	100.1%	100.1%
	R 7	40,000	47,098	117.7%	105.1%
インフォメーションプラザあり す来場者数 (人)	R 2		16,702	(前指定管理者実績)	
	R 3		11,882		
	R 4		12,544		
	R 5	12,600	12,065	95.8%	96.2%
	R 6	12,600	11,932	94.7%	98.9%
	R 7	13,000	11,822	90.9%	99.0%
あおもり県民カ レッジ学生数 (人) ※年間学生数	R 2	25,200	25,322	(前指定管理者実績)	
	R 3	26,353	26,860		
	R 4	28,860	29,122		
	R 5	29,622	29,729	100.4%	102.1%
	R 6	30,229	29,303	96.9%	98.6%
	R 7	29,803	28,818	96.7%	98.3%
<p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修室等利用者数 開所時間の延長や土曜日と重なる祝日の開所により、利用者の便宜の提供に努めたほか、問い合わせに対しては親切・丁寧に対応することで利用の促進につながった。 ・インフォメーションプラザありす来場者数 昨年度と同水準（微減）という結果になったが、窓口での丁寧な対応、フリーWi-Fi の提供、ラーニングスペースとしての開放、ほのぼののルームの運営など、来場者がより利用しやすい環境づくりに努めた。 ・あおもり県民カレッジ学生数 除籍者数は例年並であったが、入学者数が例年に比べて少なかったことから、トータルの学生数が減少する結果となったが、主催イベントや各地区での講座開催時での周知、広報等による普及啓発に努めた。 					

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	<p>県民カレッジについて、新規登録者数や単位認定申請数を増やすため、令和8年度から開始するオンラインでの申請に向けた体制の整備及び周知に努めた。</p> <p>地域キャンパス講座は各地区の連携共催先との連絡を密にし、各地区のニーズに合った講座内容を展開することで、前年度の実績を大きく上回る参加人数となった。</p> <p>ほか、電話や窓口では丁寧に対応されており、利用者アンケートを活用する等、サービスの維持・向上に向けた取組が適切になされていた。</p>
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	<p>1階ロビーの案内モニターは常に最新の状態で表示し、所内の掲示も定期的に整理するなど、利用者が見やすいように努めた。</p> <p>自主事業については、事業計画に沿った講座運営に取り組み、目標見込み人数を上回った。</p> <p>生涯学習情報誌を計画通りに発行したほか、各講座やイベントについて、ホームページやSNS、テレビやラジオ等で積極的に周知活動を行った。</p>
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	<p>事業計画に基づき、施設管理上必要な法定点検や定期検査を適切に実施したほか、毎日の巡回により異常など対応が必要な場合の情報共有などを適切に行い、安全性の確保及び良好な機能の保持に努めた。計画に基づいた毎日の清掃実施に加え、清掃時以外でも施設内外を見回りし、清潔な状態を保った。</p>
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	<p>施設内の定期的な巡回、危機管理マニュアルによる避難訓練の実施等、安全・安心な利用に資する体制作りに努めていた。</p>
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	<p>サービス低下とまらない範囲で経費節減に取り組みつつ、適正な指定管理料の執行に努めていた。また、使用料の徴収についても適切に処理されていた。</p>
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	3	3	<p>見やすいチラシの配置やホームページ更新頻度の改善など、継続して事業の周知に努めたほか、丁寧な説明、館内環境の整備など、利用者に配慮した対応がなされた。</p> <p>また、成果目標は概ね達成できており、達成できなかった目標についても、それを達成するための取組を行っている。</p>

⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	雇用関係各種手続きは労働法令を遵守し適切に実施されており、個人情報については適切な保管・管理に加え、個人情報保護に関する研修を実施して職員の意識向上を図るなどの取組を実施している。
総合評価	3	3	継続して利用者に対する丁寧な対応や適切な施設維持管理に努め、SNS等も活用した積極的な広報活動を実施、また、時勢や地区ごとのニーズに合わせた講座内容の計画や講師選定に努め、県民サービス向上のための各種取組を通じて、生涯学習の振興に努めており、総合的に、青森県総合社会教育センターの設置目的に則った適切な管理運営が行われている。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する